

招へい目的：帯広畜産大学と忠南大学校との学術交流協定に基づき開催した「鳥インフルエンザの予防と対策」についての国際シンポジウム、学術情報の交換および今後の共同研究についての打合せ

外国人研究者名：Sang Hee Seo 先生(准教授), Hyo In Yun 先生(教授)

国 籍：大韓民国

所属機関・職名：忠南大学校・准教授, 教授

外国人研究者招へい助成申請者：山田 一孝 (臨床獣医学研究部門・教授)

1. 目 的

帯広畜産大学と忠南大学校との学術交流協定に基づき「鳥インフルエンザの予防と対策」について、国際シンポジウム、学術情報の交換および今後の共同研究について打合せを行うため。

2. 期 間

平成20年12月18日～平成20年12月22日

3. 場 所

帯広畜産大学

4. 内 容

韓国忠南大学校獣医科大学との学術交流シンポジウムは1993年に学術交流協定が締結されて以来、隔年相互に訪問し、16年にわたり交流を深めてきた。昨年は、申請者（山田）が招かれ、忠南大学校で講演し、学術交流を深めた。今年度は、忠南大学校から推薦された2名の先生をお招きし、国際シンポジウムの開催ならびに今後の共同研究の打合せを行った。国際シンポジウムでは、Seo 先生、Yun 先生に招待講演いただき、本学から大動物特殊疾病研究センター今井教授、小川准教授が講演を行った。さらに、獣医学ユニット5年生が加わり、熱心な質疑応答が行われた。国際シンポジウム終了後、北海道大学獣医学部を表敬訪問し、獣医学研究についての更なる発展について約束を交わし、帰国の途につかれた。

シンポジウムのプログラムを以下に示す。

開催挨拶（三宅陽一先生） 司会（河津信一郎先生）

基調講演 1（Hyo In Yun 先生）

Introduction of College of Veterinary Medicine, Chungnam National University

基調講演 2（Sang Heui Seo 先生）

Development of H5N1 Influenza Vaccine Using Ferret Model

基調講演 3（今井邦俊先生）

Outbreaks of Highly Pathogenic Avian Influenza in Poultry in Japan

基調講演 4（小川晴子先生）

Copper-induced Inactivation of Influenza A Virus

本学と学術協定を締結している大学間で16年間にわたり教員同士の相互訪問による交流が継続していることの意義は高い。この点について、忠南大学校側の認識も同じで、帯広畜産大学と「更に密なる交流を望む」とのコメントをいただいた。そして、両先生には、アニマルグローバルヘルス「畜産物非破壊検査学セルユニット」のフィールド展開活動の実現に一役かっただき、韓国の食肉検査センターで肉質調査サンプリングが実現した（平成21年2月27日）。このような学術交流の貴重な機会に恵まれたことは、帯広畜産大学後援会から外国人研究者招へいに対して助成していただいたお陰に他ならない。

今回のシンポジウム開催にあたり、研究国際課の協力なしに成功はありえなかった。多大なる事前準備や会場設営にお力添えいただいた研究国際課国際企画係高橋やす子係長、牧孝幸様、木村美紀様に心から御礼申し上げます。また、ご多忙の中、講演を引き受けて下さった大動物特殊疾病研究センター今井邦俊センター長、小川晴子准教授、司会の大役を引き受けて下さった原虫病研究センター河津信一郎教授に厚く御礼申し上げます。

また、国際シンポジウムの申請、準備から開催、懇親会の全てに至り、終始激励・御助言をいただいた臨床獣医学研究部門部門長三宅陽一教授に厚く御礼申し上げます。

キーワード：鳥インフルエンザ，忠南大学校，国際交流，韓国，獣医学



シンポジウム風景（Yun 先生）



十勝毎日新聞